

新大阪駅の業務用扉・錠の 改善要求が実現しました！

錠の取り替えと柵を高くする要求実現！

昨年12月29日、新大阪駅ホーム端の業務用扉のテンキー錠が1月6日から順次設置するとの掲示が職場で出ました。現在はすでに工事も終了し新たな錠が設置され、乗り越えも出来ない高さとなった柵が各ホームに設置されました。

昨年、新大阪駅の扉の錠は頻繁に鎖状されていない状態が発生し、その都度会社は関係した社員から事情を聞くなど、いかにも社員が悪いかのような対応をしてきました。

私たちは、扉の錠の劣化と機械的な不具合、柵の高さに根本的な原因があるために申し入れ（申第5号「新大阪駅ホーム端業務用扉の不具合に関する申し入れ」（2014年8月7日）、申第19号「品川駅ホーム柵の錠の不良とセキュリティ」に関する申し入れ（2014年11月5日）を行ってきました。

組合が申し入れに添って再三、柵の調査と改善を求めていましたが、会社は幹事間の回答で「業務用扉は欠陥があるわけではない。」「正しい使い方をしてなかったので、未鎖錠が発生していた。」「しっかりと基本動作をやって頂ければ大丈夫。」と回答するだけで扉の不具合を認めようとはしませんでした。

しかし、昨年末に突然、会社は「テンキーの設置」という内容の掲示を出し「業務用扉」の改善を実施したのです。会社の対応には問題がありますが、組合側の申し入れにより「業務用扉」の問題点を認め改善を実施したということです。

私たちは、労働組合の要求による安全対策が前進したことを明らかにします。そして、今後も職場で発生する諸問題の改善に向けて頑張っていきます。

みなさんのご意見を聞かせて下さい。